

★情報通信マネジメント研究会 (ICM)

専門委員長 吉原貴仁 副委員長 三好 匠・佐藤陽一

幹事 大石晴夫・瀬戸三郎 幹事補佐 中山裕貴

日時 3月2日(月) 9:00~12:35

3日(火) 8:40~17:50

会場 大濱信泉記念館(石垣市登野城2-70)

議題 エレメント管理, 管理機能, 理論・運用方法論, 及び一般

2日午前

1. 移動体通信併用形 MANET における通信負荷に基づく経路構築手法
○小野翔多(東大)・山崎 託・三好 匠(芝浦工大)・瀬崎 薫(東大)
2. [奨励講演] 複数連携サービスのトレースデータに基づくサービスグラフ構築手法の提案
○酒井 優・高橋謙輔・近藤 悟(NTT)
3. [奨励講演] 自律制御ループ方式におけるメッセージ制御方式の提案
○池谷友基・高橋謙輔・近藤 悟(NTT)
4. [奨励講演] グラフデータベースにおける ICT リソースの時系列管理とその抽出方法の提案
○杉本昌司・遠藤哲志・大野木健太・江口秀晃(NTT コムウェア)
5. [招待講演] モバイルネットワークにおけるオペレーション高度化の取り組み
○沼尻政吾・斉藤 涼(NTT ドコモ)
6. [招待講演] 大規模国際イベントを支える映像伝送サービスの運用監視システム
○鈴木秀典・平原千里・西江将男(NTT コミュニケーションズ)
7. [特別講演] TM Forum の最新動向—オペレーション領域における AI の検討動向について—
水野清貴(NTT コムウェア)

2日午後 ワークショップ(13:30~17:30)

2020 年情報通信マネジメント (ICM) ワークショップ(第二種研究会)

テーマ: 情報通信の民主化を見据えたモバイル通信の未来—ローカル 5G がもたらす未来と運用管理の観点から—

3日午前

1. テナント／インフラの問題切り分けを可能とするクラウド運用支援技術の開発
○小口直樹・白石 崇・野呂正明・高野陽介(富士通研)
2. コンテナネットワーク品質のリアルタイム監視システムの開発
○白石 崇・野呂正明・高野陽介・小口直樹(富士通研)
3. 通信トラフィックを活用した学習ベースの異常検知における学習データの自動蓄積
○深澤那月・吉田直樹・阿多信吾・岡 育生(阪市大)
4. Domain Adaptation を用いた大規模 NW トラフィック識別技術
○飛山 駿・胡 博・神谷和憲・谷川真樹(NTT)
5. 大規模クラウドサービス故障復旧におけるゼロタッチオペレーションシステムの拡張と評価
○宮崎友貴(NTT コムエンジニアリング)・辻 明香里・沼田晋作(NTT コミュニケーションズ)・小山和邦(NTT コムエンジニアリング)・澤田昌克(NTT コミュニケーションズ)
6. 障害復旧に向けたオーダ履歴管理方式の提案 ○高橋謙輔・池谷友基・金丸 翔・豊嶋剛司(NTT)
7. API アダプタの C-Plane 及び U-Plane の包括的な試験自動化手法の提案
○金丸 翔・池谷友基・高橋謙輔・豊嶋剛司(NTT)
8. フローデータへのグラフ中心性特徴量付与による DDoS 検知法
○林 裕平(NTT)・藤岡碧志・鈴木彦文(信州大)
9. 既存システムと連携したデジタルトランスフォーメーション実現方法の検討
○水野 潤・高重聡一・那須弘志(日立)

3日午後(13:30~)

10. ネットワークの全体把握を可能にする構成図描画方式の検討
○小城朋寛(ソフトバンク)・小島慎太郎(コーダンス)
11. ネットワークオペレーション分析業務への AI 適用の取り組み
○木村竜也(ドコモ・テクノロジー)・斉藤 涼(NTT ドコモ)・諏訪裕一・柴田精司・塩津晃明・稲垣由朋・鈴木将友(ドコモ・テクノロジー)・山本浩司(NTT ドコモ)
12. 標準仕様をベースとした Zero Touch Operation のアーキテクチャに関する考察
○秋山晋作・小石川俊文・石居健太郎・古谷雅典・諏訪裕一(ドコモ・テクノロジー)
13. フロー情報によるサービス通信シーケンス検出方式の検討 古谷信司(三菱電機)

14. 〔奨励講演〕 機械学習を用いたネットワーク保守センター向け回答推奨システムの拡張
○小島祐治（富士通）・山下真司（富士通研）・藍 高榮・青木泰彦（富士通）
15. 資源の有効利用を考慮した MRC に基づくネットワークスライス向け高速障害復旧技術
傳 嘉煒・畑中崇志・○橘 拓至（福井大）
16. トラヒック情報を活用したサービス状態監視方式の一検討 ○竹下 恵・副島裕司（NTT）
17. NW 構成情報を用いた NW 装置警報群の関連付け及び主要因警報分析方式の提案
○佐藤亮介・尾居愛子・須藤侑一・坂田浩亮・中島 求・古川 毅（NTT）・伊藤良太（NTT ネオメイト）
18. 車車間 P2P ネットワークにおけるマルチホップ通信の性能評価
○藤間貴史・三好 匠・山崎 託（芝浦工大）・オリヴィエ フルモー（ソルボンヌ大）
19. SDN の特徴を利用した動的トラヒックシェーピング方式 海老根康太・山内遼太郎・○栗林伸一（成蹊大）

【問合せ先】

ICM 研究会幹事

E-mail : icm-kanji@mail.ieice.org

◎<http://www.ieice.org/~icm/jpn/>